

第38号

発行日 平成30年2月20日  
発行元 みやぎっ子ルルブル  
推進会議事務局  
(宮城県教育庁教育企画室)  
TEL(022)211-3616



# ルルブル通信

## みやぎっ子ルルブルフォーラムを開催しました！

1月27日(土)、夢メッセみやぎ西館ホールを会場に、「みやぎっ子ルルブルフォーラム」を開催し、当日はたくさんの皆さんにお集まりいただきました。「ルルブルロックンロール」のダンスと共に幕開けし、みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体・小学生ルルブルポスターコンクールの表彰式をはじめ、東北大学加齢医学研究所・川島隆太所長による講演、タレント・ユージさんと川島所長との特別対談が行われました。



対談では、ユージさんに奥様・3人のお子様との楽しく、愛情たっぷりの育児エピソードなどをたくさんお話しいたきながら、あらためて川島所長から、ルルブルや親子間の愛着形成の重要性について、わかりやすく解説いただきました。

とても和やかな雰囲気の中で行われた今回のフォーラムは、子供たちの将来にとって必要なこと、基本的な生活習慣の重要性などを、来場者の皆さんと一緒に考え、ルルブルの大切さについて共有する良い機会となりました！



みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体



ユージさんのご家庭は親子の遊びやふれあいが素晴らしいですね！このような家庭は今、絶滅危惧種状態なんです。

僕自身も楽しんで息子や娘たちと遊んでいます！もともと家族への憧れが強く、自分が子供の頃にしてほしかったことを、今子供たちにしてあげている感じです。



小学生ルルブルポスターコンクール入賞児童



ニュースポーツ体験



英語のFUN ZONE

会場にはキッズコーナーも設けました！ニュースポーツ体験のほか、今回初めて、聖ドミニコ学院小学校の先生方のご協力のもと、「英語のFUN ZONE」と題した英語体験コーナーを実施しました。参加した皆さんは、ゲーム感覚で楽しみながら英語に親しんでいる様子でした！

## 新会員紹介

みやぎっ子ルルブル推進会議の趣旨にご賛同いただき、  
新たに会員になられた皆様を紹介します。  
(平成30年1月30日から2月20日までの間に登録された31企業・団体)



### ★企業・団体名（登録順・敬称略）★

株式会社 アテナ事務機	石巻建設株式会社	株式会社 ウェルズリッチ	株式会社鎌田建設	個別教室のアップル・ 家庭教師のアップル
株式会社 サノランチボックス	株式会社シマサ	特定非営利活動法人 シャロームの会	株式会社 仙台紙工印刷	有限会社 仙台福祉清掃社
株式会社仙北建設	大角屋トーヨー住器 株式会社	株式会社 丹野測量設計	株式会社 ティータシステム	医療法人水仙会 長町歯科診療室プラン
日成施設株式会社	有限会社久光組	株式会社古川土地	株式会社 丸平かつおぶし	メディアテック 株式会社
菱友貨物株式会社	アイリスフーズ 株式会社	社会福祉法人愛子福祉会 いずみ授産所	株式会社 おむすび保育園	有限会社桂月堂
株式会社 仙台給食センター	株式会社 千葉測量技研	BALIE株式会社	福寿水産株式会社	株式会社マックス設計
マリンプロ株式会社	平成30年2月20日現在：453団体			

### ★みやぎっ子ルルブル推進会議会員の皆様へ★

職場内でのルルブルや基本的な生活習慣定着の啓発に、  
ご協力をお願いします！子供たちの健やかな成長のために、  
まずは大人が率先してルルブルに取り組みましょう！

#### 【職場での実践例】

- ルルブルに関するパンフレットや資料の掲示・回覧
- 職場と家庭との連携活動（職場見学会の実施など）
- 「はやね・はやおき・あさごはん」の歌や「ルルブル  
ロックンロール♪」の放送



事務局ホームページに  
「ルルブル実践  
GUIDE」  
を掲載しています！

## 平成28年度 みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体 取組紹介⑤

昨年度のみやぎっ子ルルブル推進優良活動団体のうち、今回は、県内の小学校4校の取組を紹介します。

### 登米市立米山東小学校

心身ともに健康で、体力の向上に努力する米山東っ子

#### 取組の内容

全校児童が縦割り班になり、学校から平筒沼まで徒歩で遠足を行っており、歩きながら地域の自然に触れ、仲間との会話を楽しんでいるほか、平筒沼では縦割り班ごとに広場で遊び、芋煮を作って仲間と食べています。また、業間マラソンを毎週金曜日に実施し、校庭の状態が悪い時などは、業間ウォーキングとして上り坂、砂利道、階段などと変化に富んだ校舎の周りを歩いています。



#### 取組の成果

外に出て遊んだり、自分の足で歩いたりすることを気持ちよいと児童が感じるようになったほか、自分たちで作った料理のおいしさや一緒に食べることの楽しさを味わうことができました。また、休み時間に外に出て体を動かす習慣が身に付いてきているほか、業間ウォーキングでは、マラソンが苦手な子供も楽しく歩いており、全員が参加できる取組になっています。

## 加美町立中新田小学校

中新田五種オリンピック

### 取組の内容

校庭に、「ボール当て」「ボール渡し」「宝運び」「のぼり棒」「鉄棒」の5つのエリアを設置し、オリンピックカードに記入しながら自由に挑戦し、下学年が実施する間、上学年は手伝いや応援をし、上学年が実施する間、下学年は見学や応援をしています。また、本読みカードに寝る時刻チェック欄を設けているほか、各種お便りで運動と食事・睡眠との関係やその大切さを家庭へ伝えています。



### 取組の成果

多くの児童が、全ての運動に挑戦しようとし、期間終了後もその運動に取り組む姿が見られました。体力と共に意欲も育ったほか、下学年の児童は上学年に憧れと感謝の心もち、上学年の児童は自己有用感と思いやりの心をもつことができました。また、身体を動かすことに抵抗がなくなり、家庭や地域でも外遊びをする姿が増えてきたほか、「よく遊ぶ」ことが、「よく食べる」、「よく寝る」につながり、「遅刻」が軽減されてきました。

## 栗原市立玉沢小学校(現・築館小学校)

ありがとう 玉沢小学校 このきずな永遠に

### 取組の内容



夏期休業中に「たまさわっこのなつやすみ」というプリントを配布し、児童の規則正しい生活の習慣付けを図っているほか、「目標朝会」で講話や指導を行い、集会の様子などを「ほけんだより」として配布し、保護者に啓発活動を行っています。また、全校での米作りや漢方和牛料理の食育体験学習などを実施しているほか、業前活動の「スポーツタイム」や、ダンス教室、ホッケー教室の実施、校庭にラインを引いてコートを作り、ドッジボール遊びなどを行っています。

### 取組の成果

プリントの実践前に比べ、早めの就寝を心掛けるようになり、「寝る時刻が早くなった」という声が聞かれるようになったほか、「お米ができるまでこんな苦労があるんだ」などと、難しさやありがたさを感じながら活動できました。また、「スポーツタイム」や各種教室の実施、ドッジボール遊びなどにより、体力と能力の向上が見られるようになりました。

## 南三陸町立入谷小学校

命とふるさとを大切にし、  
にこにこ はきはき てきはき とした子どもを育てよう

### 取組の内容

長期休暇後の1週間、「ルルブルチェックカード」を用いた取組を行っているほか、肥満傾向のある児童の保護者に、町の管理栄養士から食事に関する個別の栄養指導をしてもらっています。また、始業前の15分間、全校で主に縄跳びとマラソンを行う「元気アップタイム」を毎日継続しているほか、業間や昼休み、放課後のスクールバスを待つまでの時間を利用して、教師と一緒に自由遊びに取り組んでいます。さらに、地域人材を学校に招き、干し柿づくり、入谷打囃子などを通して、自然や人との関わりについて学んでいます。



### 取組の成果

子供たちだけでなく、家庭の生活習慣改善への兆しが見えたほか、子供の肥満に対する保護者の意識が高まり、肥満度の改善が見られています。また、朝の運動習慣が定着することで、体力・運動能力調査において、良い方向に改善され始めています。さらに、ふるさとの良さを知り、人や自然と関わることで思いやりの気持ちが育まれています。

- みやぎっ子ルルブル推進会議では、会議の趣旨にご賛同いただける登録会員を募集しています。詳しくは、下記HP掲載の会議規約をご確認の上、登録書様式によりお申込みください。
- ルルブルに関する取組事例や情報等がありましたら、下記までご連絡ください。

担当：みやぎっ子ルルブル推進会議事務局（宮城県教育庁教育企画室）  
TEL：022-211-3616 Email：[kyoikupp@pref.miyagi.lg.jp](mailto:kyoikupp@pref.miyagi.lg.jp)  
URL：<http://www.pref.miyagi.jp/site/ruruburu/>





# 「学ぶ土台づくり」便り

第9号



宮城県では、幼児教育の充実を目指し、ルルブル同様、社会総がかりで次世代を育てる幼児教育を展開するため、「学ぶ土台づくり」を進めています。

**新幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 施行（平成30年4月）まであとわずか！**



平成29年4月に幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領が揃って告示となり、施行まであと2か月を切りました。この一年、どの園・所でも新要領・指針の読み合わせや次年度に向けて準備をしてきたことと思います。

今回の改訂・改定では保育内容の5領域は全ての幼稚園・保育所・認定こども園の3歳以上について同一のものが指導されることとなりました。「学ぶ土台づくり」では、小学校に就学前の全ての子供たちに対して、どの家庭どの地域、そしてどの教育現場でも、充実した幼児教育が行われることを目指してきました。現在策定中の第3期「学ぶ土台づくり」推進計画においても、今回の改訂・改定を踏まえた取組等が追加される予定です。

この機会に、幼児教育の大切さを改めて見直し、大切なことを家庭や地域社会等へ発信できればよいですね。県教育委員会でも幼児教育の普及啓発に一層取り組んでいきたいと思ひます。

## 「遊び」は重要な学習です

幼稚園は、遊びを大切にしている教育を行っています。

この時期に思い切り遊ぶことで、その後の学びや創造性が豊かになるといわれています。

このため、幼稚園では、小学校以降の教育と異なり、教科書を使わず、「遊び」中心の活動を行っています。これらの「遊び」は、「国語」や「算数」などと同じように子供の将来にとって重要な学習なのです。

## 小学校以降の学習の基盤は幼稚園で作られます

幼稚園の「遊び」と小学校の「国語」や「算数」などは、一見何のつながりもないように見えるかもしれませんが。

しかし、子供は、幼稚園で様々な遊びを通して、うまく人とかわれるようになったり、言葉が豊かになったり、自然の美しさや不思議さなどに気付いたりすることで、小学校以降の学習の基盤をつくっているのです。【文部科学省HP「幼稚園ってなあに？」より】

改訂・改定のキーワードは「学び」

遊びの中に「学び」があることを家庭に地域に発信していきましょう!!

## 遊びには様々な学びが隠れています



## 「学ぶ土台づくり」自然体験活動

幼児期は、人とのかかわりや遊びを中心とした体験活動を通して、道徳性や社会性、自発的な行動など、社会生活を営んでいく上での原点となるものを獲得していく大切な時期です。

宮城県立自然の家（志津川，松島，蔵王）では、幼児（親子）を対象とした体験活動の催しの充実を図っています。また、国立花山青少年自然の家では、幼稚園や保育所等と連携を図りながら運動プログラムの開発・普及の取組を行っています。

各施設のホームページ等をぜひ見てください。



担当：宮城県教育庁教育企画室

TEL：(022)211-3616 FAX：(022)211-3699

検索

学ぶ土台づくり

Email：[kvoikupp@pref.miyagi.lg.jp](mailto:kvoikupp@pref.miyagi.lg.jp)

URL：<http://www.pref.miyagi.jp/site/manabudodai/>